

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	高齢者生きがい推進事業	会計	一般会計	事業No.	187	施策順No.	28-001
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-1-4-15-1		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	介護高齢課		
施策	28 学習交流活動の推進			事業期間	開始	1	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	60歳以上の市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		60歳以上の市民の数	35376	36124	37194	37545	37820	
	意図	高齢者に様々な学習機会を提供し、新たな交流が広がり、生きがいづくりの推進を図る						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	活動参加者数	351	327	323	350	286	350	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		自主運営教室の会員数は変動が小さい。一方で、シルバーパソコン教室については、毎回参加者数が異なり、定員の半数での開講もあった。目標に到達するにはパソコン教室の参加者数が増えることが必要。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	高齢者のための、学習会、講演会、各種講座を開講し生きがいづくりと健康増進を図りグループの育成を行う *各教室とも、資料印刷など事務的な支援は求めに応じて行っていくが、特に財政面ではパソコン教室のみ支援で、他の教室は自主的運営で行っていく。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	シルバーコースなど自主運営教室は継続して開催。資料印刷、会員募集など主に事務的な支援を継続して行っていく。 *各教室とも、資料印刷など事務的な支援は求めに応じて行っていくが、特に財政面ではパソコン教室のみ支援で、他の教室は自主的運営で行っていく。 シルバーパソコン教室については、受講希望者が減少しているが、委託先が事業を行ってくれるということなので事業を継続。年賀状講座も継続実施。	教室数 1 自主運営教室 2 パソコン教室 開催数 受講者数 3 年賀状教室 開催数 受講者数	9教室 1 6教室 2 3教室 45人 3 6教室 22人
23年度実施計画	シルバーコースなど自主運営教室は継続して開催。資料印刷、会員募集など主に事務的な支援を継続して行っていく。 シルバーパソコン教室については、受講希望者が減少しているが、委託先が事業を行ってくれるということなので事業を継続。 パソコン教室は松尾のゆめみらいICTカレッジに委託しているが、車の無い方でも通いやすい方法を検討する。	教室数 1 自主運営教室 2 パソコン教室 開催数 受講者数 3 年賀状教室 開催数 受講者数	9教室 1 7教室 2 3教室 3 8教室

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	0				
一般財源	281	272	267			
計(A)	281	272	267			
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)		0				
トータルコスト A+B		272				

4 事業に対する市民や議会の意見

参加者からは好評である。 広報などによる定期募集には参加希望が多く寄せられ、「是非、参加したい。」「楽しみにしている。」などの声が聞かれる。 基本構想基本計画推進委員会からの意見 ・事業内容を検討し、参加者数を増やすよう検討されたい。
--

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学びの機会が得られる 多様なネットワークが広がる 社会活動に主体的に参画する	施策の成果指標 又はムトス指標	家族や職場以外で交流がある市民の割合 (%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	事業参加者が、地域を超えた交流を行うことができた。多様なネットワーク、学びの機会の提供ができた。		社会活動に参画する市民の割合 (%)
	後期に向けた課題	参加者が増えない教室の維持。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	毎年広報し、参加者を募っている。また、参加者には友人に声をかけていただいて、参加者数の増加を図っている。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	予算化しているのはシルバーパソコン教室のみ。		
	後期に向けた課題	23年度より、予算科目を委託料とし、委託先を増やしてコスト削減を行う。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	グループごとに受益者負担(会費)は異なる。市の関与程度は適切。		
	後期に向けた課題	参加者の自主的な取組を促し、市の関与を増やさないようにする。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	主体は参加者。生きがいつくり、仲間づくりを行っていただいている。		
	後期に向けた課題	主体的に取り組むという意識を持っていただく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	会員数、受講者数を減らさないように努めた。		
	後期に向けた課題	市民のニーズに応じた、新たな教室の開催(「団塊の世代」向けの教室)が必要になるかもしれない。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------